



1年間をふりかえるとき

校長 中村 純治

今学期も残り3週間ほどとなりました。校外学習をはじめ多くの行事を経てきた2学期、子供たちは様々な経験を積み、成長してきました。まとめの時期を迎え、今の自分を見つめ直し、一日一日を大切に学習に運動に励んで欲しいと思います。

12月はふりかえるときです。学校生活の様子・学習意欲や学習内容の定着・遊び・ゲームや読書の時間・友達関係・親子関係など、今の自分をいろいろな面から見つめてほしいと思います。今の自分を丁寧に知ることができれば、目標となる自分が見えてきます。それが次につながり、必ずステップアップできます。師走の「師」とは？日頃落ち着いている学校の先生も忙しくてつい走り回る月、また普段はゆったりとしているお寺の住職があちこちの家々を走り回る月など、いろいろな説があるようです。いずれにしても師走は1年の終わりであること、そして12月はみんな忙しい月であることは変わらないようです。だからこそ、時間に流されないように心のゆとりだけはもち続けたいと思います。

大切なことは自分が思ったことをやり切ることでないかと思えます。ものまねタレントのコロッケさんが大切にしている言葉「あおいくま」を掲載します。参考にしてみてください。

『プラス思考の母が、いつも口癖のように言っていた言葉があります。「あおいくま」これは、「あせるな」「おこるな」「いばるな」「くさるな」「まけるな」の五つの言葉の頭文字を並べたものです。「人生で大切なことは、この五つたい」母はそう言って、家の柱に貼っていました。小さい頃から毎日眺めていたので、自然と口ぐせにもなっていました。この言葉を本当に理解できたのは、TV番組で優勝したときでした。それまで、来る日も来る日も頂点を目指して頑張ってきたのに、楽屋に帰ってきたとたん、なぜだか猛烈な虚しさに襲われたんです。「優勝したって、なんになるんだろう・・・」そのときも「あおいくま」が浮かびました。「母さん、人に負けずに、頑張ってきて、これだよ・・・」と、落ち込みました。

でも、待てよ・・・と、そのとき思ったんです。そうか！この言葉は、「あの人に負けるな」と人に対しての言葉だと思っていたけれど、本当は自分に対する言葉だったんだ！

その瞬間、目の前の景色がガラッと変わりました。ここはゴールではない、まだまだ自分の目指す道のりは遠くて長いんだ、と。

「優勝しても、仕事が急に増えるわけじゃなかでしょう。本当の勝負はこれからたい。」母に電話で優勝の報告をすると、間髪をいれず、そう返ってきました。母は、僕の気持ちをお見通ししてたね。

「自分に焦るな、自分に怒るな、自分に威張るな、自分に腐るな、自分に負けるな」その言葉を胸に、芸を磨いてきました。ロボットの五木ひろしさんなど、他にはない自分流の芸を生み出したのは、母の「あおいくま」があったからだと思っています。』

統合校名称決まる

令和3年開校予定の小中一貫校の名称が「美乃浜学園」に決まり市長から発表されました。「令和」と同じ万葉集からの出典で、万葉集では「許奴美乃濱」と表現されており3地区の融合や未来への飛躍を感じさせられます。

合同持久走大会が11月27日(水)に開催されました



11月27日(水)に那珂湊運動公園の外周コースを利用して、平磯小・磯崎小・阿字ヶ浦小合同持久走大会が行われました。本年も平磯小では、持久走大会の約1ヶ月前から、業間をマラソントイムにして、5分間走をしてきました。それぞれが自分の目標を決めて、一生懸命に走りました。体力の向上はもちろんですが、マラソカードを活用して、自分にあった目標をたて、コツコツと努力する姿勢も育ちました。マラソカードには節目節目に教職員がシールを貼る場所があり、多くの子供たちが目標を達成しシールを貼ってもらいに來る微笑ましい様子も見られました。

持久走大会では、子供たちに、今までの練習を自信に変えて苦しくてもそれに負けずにがんばる強い気持ちをもって走ることを、そうすれば、ゴールしたときに今までより強くなった自分になることを話しました。

参加した全員が一生懸命走ることができました。自分の力を出し切り、今までの自分を超えた子供たちの姿に拍手を送りました。また、PTA保健体育委員・ボランティアの皆様には安全・誘導等で、大変お世話になり、ありがとうございました。保護者の皆様、ご家族の皆様、持久走大会へのご理解とご協力、さらには当日の応援にたくさん駆けつけてくださり、ありが

とうございました。感謝申し上げます。

